

## 三宅循環線（一般都道第212号）伊ヶ谷港線（仮称）整備事業 費用便益について

便益項目		考え方
走行時間短縮		国土交通省の費用便益分析マニュアル（平成20年11月）
走行経費削減		同上
交通事故減少		同上
追加便益 (伊ヶ谷漁港への 現道が通行止め)	リダンダンシー向上	伊ヶ谷漁港の利用者等が、他の2港へ迂回する走行時間の短縮 参考：国土交通省の費用便益分析マニュアル「災害等による通行止めの考慮」
	孤立解消	伊ヶ谷漁港以外の2港が使用不可で、島全体が孤立する期間における島民の経済的被害額を解消 推計手法：「島全体の人口×想定孤立日数×都民1人当りの日生産額」より算出
	人的被害の回避	噴火時に伊ヶ谷漁港以外の2港が使用不可で、全島避難ができない場合における人的損失額を解消 参考：公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）国交省（平成21年6月）「人的損失額」

### 費用便益比算出結果

※百万円未満は端数処理

費用便益比	B/C	総便益 (B) 5,777 百万円 ÷ 総費用 (C) 5,522 百万円 = <b>1.04</b>
-------	-----	---